

令和7年度学校推薦型選抜（小論文） 出題意図および採点のポイント

地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース

【出題意図】

地域創生学部地域創生学科地域文化コースは、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心と基礎的な知識・技能を有し、それらについて主体的に多角的な考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲をもつ人を求めている。そのため、日本や世界の各地でも起きている身近な地域の問題に関する資料を提示し、それに関する設問への解答を評価することで、課題文の読解力のもとより、地域の問題に関する基礎的な知識の有無、論理的思考力、文章表現力などを総合的に評価することを意図した。各設問の出題意図は以下のとおり。

【問題1】

資料から読み取れることを論理的に説明する問題であり、資料を読み取る力、文章表現力を問うことを意図した。

【問題2】

資料から読み取れることを踏まえ、社会の動向やそれを裏づける資料、自身の経験などをもとに、自らの考えを論理的に記述することを求める問題であり、論理的思考力と文章表現力を問うことを意図した。

【採点のポイント】

【問題1】

1. 訪日外国人観光客をはじめ多くの観光客が日本の観光地を訪問し、観光地で観光公害（オーバーツーリズム）が発生していることが、資料1・2をもとに説明されている。
2. 県内有数の観光地・宮島でも来島者数や観光消費額が増加する一方で、観光客向けサービスと住民福祉の充実に向けて訪問税が新たに導入されたことが、資料3～5をもとに説明されている。
3. 上記1・2についてオーバーツーリズムの発生とそれへの対策が説明されることが最も適切であるが、それ以外に資料から読み取れることを記述している場合は柔軟に採点する。
4. 適切な文字数で記述されている。
5. 誤字・脱字がなく、漢字を適切に使用し、段落分けが適切になされている。

6. 論理的で明快な文章表現と構成がなされている。

【問題 2】

1. 観光振興と観光公害の関係に対する意見が、自分の言葉で明快かつ論理的に述べられている。
2. 宮島訪問税の導入に対する意見が、自分の言葉で明快かつ論理的に述べられている。
3. 上記 1・2 以外に、問題 1 で読み取った内容を踏まえて自分の意見を明快かつ論理的に述べている場合は柔軟に採点する。
4. 適切な文字数で記述されている。
5. 誤字・脱字がなく漢字を適切に使用し必要に応じて段落分けが適切になされている。
6. 論理的で明快な文章表現と構成がなされている。